

地域おこし協力隊
東将太隊員の！！

NEOだより

2月号 (1月25日発行)



↑樽見駅に浮かぶ“おかえり”の文字

『キャンドルライト点灯式』

1月11日(金)に樽見駅でプロジェクト「温かいNEOに、NEONを。」のイベントを行いました。キャンドルライトで“おかえり”を表現した電光掲示板を手作りして設置。樽見駅に帰ってきた人を温かく迎えようというものです。樽見駅が明るくホッとできるような空間になれば良いなと思い、企画しました。当日は80名の方に来ていただきました！本当にありがとうございました！！

※2月末まで平日限定で17:30～19:30まで点灯しています。樽見駅のホームを降りてすぐの所です。

【東隊員の1月の主な活動報告】

12/30～1/4 →地元の札幌に帰省♪
1/9 →中日新聞取材(点灯式の事)
1/11 →キャンドルライト点灯式
1/16 →樽見鉄道へ。企画提案
1/20 →大野橋駅伝 運営手伝い
1/21 →ふれあいいいききサロン 板所
1/23 →minto3月号表紙撮影・取材

【東隊員がいま考えてる事は？】

- ・余っている竹を使って花壇を皆で作って、樽見駅～淡墨公園までの道に“お花ロード”を作ったら面白いかも。
- ・地域の人が集う場所の集会所で、地域のこれからについて話し合うおしゃべり会議をやってみたい。楽しい雰囲気です。

～あずまっくすコラム～

僕は札幌で生まれて、3才から高校卒業まで隣の北広島市で育った。人口は6万人。特に特産物もない、住宅ばかりある町。僕の中で、北広島は“何もない町”。でも、上京して地元を離れてから気付いたことが1つある。たしかに、有名な建物や人に自慢できるものはなかったかもしれない。でも、家族・友人・幼なじみ・近所のおじさんやおばさん。そして、何百回も歩いた道、兄とよくサッカーをした公園…。僕が見慣れたいつもの人、景色がある。だから、僕にとって北広島は“安心感のある町”。根尾に住んでもうすぐ5カ月になる。もっと地域の人と話して、根尾が僕にとって“安心感のある町”になるように頑張りたい。



◆本巣市地域おこし協力隊 東将太(あずましようた)の紹介◆

札幌出身。1987年11月生まれの25歳。2012年9月に働いていた東京の会社を辞めて根尾地域の神所に移住、地域おこし協力隊として活動中。本巣市スポーツ推進委員もやっています♪
・Facebookページ:本巣市地域おこし協力隊 ・ツイッター: @motosu_MAX